

母校起雲館の「芝蘭室」見学レポート

押田良樹

明治9年創立の母校は昨年創立135周年を迎え、11月19日松江のホテル一畑で記念の双松会総会・懇親会が盛大に開催されました。

この日、会は午後2時開始だったので、私は午前中小雨の中、母校の起雲館を訪ねました。

訪問の目的は同館の3階にある同窓会資料室「芝蘭室」を見学するためでした。

長い歴史を有する母校には様々な貴重な遺品が保存されております。これらに説明文を付けたり時代順や系統だった展示にしたりしてより見学しやすいようにと、一昨年松本幹彦前双松会会長の陣頭指揮のもと庄司肇会長や事務局、学校関係の方々が多大の尽力をされ、このめでたい記念式典の日に合わせて装いも新たにオープンとなったのです。

私は起雲館を6年前に一度訪れたことがありますが、資料室はそのときとは見違えるように整備されていました。

展示は3階の2室に分かれており、2室の間には旧制高女ゆかりの茶室(沖舟亭、南田庵)があり当日は茶道部の生徒たちが見学の人たちにお茶の接待をしていました。

展示室は手前の部屋の方には二本松の由来や変遷を示す「双松」コーナー、明治・大正期の松江中学時代の教科書等の文書、若槻礼次郎、河井寛次郎、永井隆など著名な卒業生の写真や著書、ラフカデオ・ハーン関連資料などが整然と展示されていました。

更に茶室を挟んだ奥の大きな資料室には、母校の沿革を表す大きなパネルが掲示され、各時

代の校舎の写真、各期の卒業時ルームごとの記念写真アルバム、川津校舎やその界隈の写真アルバム、松高新聞、生徒会誌、各運動部の活躍を物語る写真など数多くの興味深い資料が展示されていました。

もっとゆっくり見学したかったのですが、実は上記の卒業時のアルバムで、50年前の同期生たちの紅顔の美少年、可憐な乙女振りに見入っているうちに時間が経ち会場へ向かう時刻になってしまい、次回ゆっくり訪問することにして起雲館を後にしました。

百聞は一見にしかずで、皆様も機会を見つけて起雲館「芝蘭室」を訪問し、明治9年創立の母校の歴史に直に接することをお勧めします。

なお、「起雲館」及び「芝蘭室」については純川津世代(昭和26年入学の5期生から昭和50年入学の29期生まで)の会員には馴染がないと思われるので、「松江北高等学校百年史」等により、その概略を下記に紹介します。

初代起雲館

大正2年、大正天皇即位記念事業の一環として記念館建設が計画される。



芝蘭室の資料展示コーナー

大正 3 年 12 月 12 日竣工式 設計は松江中学
35 年卒の綿貫保之氏、建築には工業学校(現松
江工業高校)の生徒が携わったという。

大正 4 年 5 月 23 日開館式

「起雲館」の命名者は旧藩主松平直亮氏で出典
は唐代の宰相、張九齡の「聖徳頌序」にある「泰
山起雲不偏」からとったものだという。起雲館は同
窓会会館兼図書館として、これ以後長く卒業生
や生徒たちの心の故郷ともいべき存在になって
いった。

現起雲館

昭和 53 年 3 月、松江北高の赤山移転と同時に 4
階建ての新起雲館が完成。

現在の利用状況

- 1 階 食堂・売店 2 階 補習科教室・和室
- 3 階 茶室・芝蘭室・和室 4 階 研修室



芝蘭室

昭和 10 年、当時の岡校長は郷土、先輩の徳を偲
ぶ遺品資料等を展示して在校生にその偉業を偲
ばせ、かつ伝統の偉大さを実感させる場として起
雲館 2 階に「芝蘭室」を設けた。「芝蘭」の出典は
孔子家語六本。



なお、「芝蘭室」見学の際は校舎玄関横職員室
にその旨申し出て、案内をしてもらって下さい。
また、芝蘭室の展示物については、今後できるだ
け近畿双松会のホームページで紹介していくこと
を計画しております。